

「東日本大震災復興の現状と課題」

・・・被災地から見えてくる復興まちづくりとこれからの防災計画のあり方

東日本大震災は、地震や津波による被害、さらに原発事故による放射能汚染と東日本に未曾有の深刻な災害をもたらしました。被災地では未だに、困難な避難生活を余儀なくされている方々も多く、仕事を失って生活の展望を持つことができない方々も少なくありません。

被災地では、応急仮設住宅や借上げ住宅などによる住まいへの対応も進みつつありますが、元の居住地や働く場との離隔、劣悪な居住環境、生活費や光熱費の問題などから空き家が生じる状況や、必要としている地域に確保されていない状況も生まれています。一方、応急仮設住宅については、地元との建築関係者との連携による木造仮設住宅の供給など新たな取り組みも進められています。

現在、被災地の自治体で復興計画が策定されつつありますが、まちの復興や生活の再建にあたっては、被災した地域の住民の意向をどう反映していくかが最も基本的な課題です。原発事故・放射能により周辺の「地域」が消滅するなど深刻な状況下にある福島県では、被災状況や県民の意識を反映して、復興ビジョンにおいて、脱原発を明記し、それを原点として復興を進めていこうとしています。

今回は、福島県復興ビジョン検討委員会座長、宮城県女川町復興計画策定委員会会長として、地域性や住民の意向を大切にした復興計画の策定にご尽力されている、鈴木 浩 福島大学名誉教授に、各地で進められている復興まちづくりへの取り組みの現状と課題を話していただきます。

関東では近い将来の大規模な地震発生が予測されています。併せて、この3.11大震災を踏まえ、各地域のまちづくりや防災計画に何が大切なのかを話していただき、改めて、私達自身の課題として、行政、住民、建築技術者などの役割と連携について考える場としたいと考えています。

なお、講演に先だち、新建東日本大震災復興支援会議 鎌田一夫 事務局長に、東北地方の被災地の状況を報告していただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。

- 日 時： 9月8日（木） 午後18：00～21：00
- 場 所： 千葉市文化センター5階セミナー室
千葉市中央区中央2-5-1 ☎ 043-224-8211
- 報 告： 東北地方の被災地の状況
鎌田一夫 新建東日本復興支援会議事務局長
- 講 演： 「東日本大震災復興の現状と課題」
・・・被災地から見えてくる復興まちづくりとこれからの防災計画のあり方
鈴木 浩 福島大学名誉教授
(福島県復興ビジョン検討委員会座長、宮城県女川町復興計画策定委員会会長)
- 参加費： 一人1,000円（資料代を含む）

主 催：新建築家技術者集団千葉支部

申込・問合せ：新建築家技術者集団千葉支部事務局

(株)ゆま空間設計 加瀬澤

office@yumaku-kan.co.jp

TEL 043-253-8801・FAX 043-253-8806

千葉市若葉区みつわ台5-4-14